

① 基本事項

計画コード

22014

事業名

下水道ストックマネジメント対策事業

事業手法

☒ 直営
☐ 一部委託
☐ 全部委託
☐ 補助等
☐ その他()

施策の大綱

01:快適さを支える生活基盤の向上

基本施策

03:上下水道の充実

施策の方向

02:生活排水対策の推進

重点プロジェクト

-

事業期間

H 29 年度 ～ R 7 年度

主な根拠法令等

下水道法、都市計画法

予算科目

会計

13:下水道事業会計

款

資1:資本的支出

項

01:建設改良費

目

01:管渠整備費

評価分類

A1

担当部署

部

上下水道部

課

下水道課
下水道工務G

② 事業概要 (P)

事業の必要性(経緯・背景等)

健全な生活環境や公共用水域の保全・維持のためには、施設の適切な維持管理が必要不可欠であることから、公共下水道施設の老朽化に起因した事故発生や機能停止等の事態を未然に防止する必要がある。

事業の対象(誰に、何に対して)

下水道供用開始区域内の市民

事業の目的(どのような状態にしたいのか)

ストックマネジメントを推進し、長期的な視点で下水道施設全体の老朽化の進行状況に応じた対策を講じ、施設管理を最適化することにより、持続的な下水道機能を確保する。

事業の内容(どのような取組を行うのか)

亀山市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、維持管理を起点としたマネジメントサイクルの確立を図り、老朽化が進む下水道施設に優先順位付けを行った上で、施設の点検・調査・修繕・改築を実施する。

③ 事業の実施状況 (P・D)

年度

令和4年度

令和5年度

令和6年度

令和7年度

事業計画

○改築工事

○改築工事

○改築工事

○改築工事
○ストックマネジメント計画の見直し

活動実績

(計画通り実施できたか)

下水道管渠の施設が最も古いみどり町地内において、亀山市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、効率的・効果的に老朽化した下水道管渠の改築工事を実施した。

下水道管渠の施設が最も古いみどり町地内において、亀山市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、効率的・効果的に老朽化した下水道管渠の改築工事を実施した。

計画額

事業費

国・県支出金

19,000千円

26,500千円

20,500千円

18,000千円

地方債

41,000千円

33,500千円

39,500千円

42,000千円

その他

一般財源

0千円

決算額

事業費

国・県支出金

19,000千円

7,100千円

地方債

41,700千円

48,000千円

その他

39千円

50千円

一般財源

0千円

0千円

①期間内計画額(R4-7)

240,000千円

②期間外計画額(R8-)

0千円

①+②総計画額

240,000千円

(令和5年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	60,000千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	管渠改築・更新率	各年度末の管渠改築・更新率 (管渠改築更新実施済延長／計画期間内の計画対象管渠延長)	成果	%	計画値	30	53	81	100
					実績値	33	66		
					計画値				
					実績値				
					計画値				
					実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)	
	A	下水道管渠の施設が最も古いみどり町地内において、老朽化の進行状況に応じた改築工事を実施した結果、管渠改築・更新率として66%と目標値を達成することができた。
十分な成果を得た		

事業の対象	事業の目的
下水道供用開始区域内の市民	ストックマネジメントを推進し、長期的な視点で下水道施設全体の老朽化の進行状況に応じた対策を講じ、施設管理を最適化することにより、持続的な下水道機能を確保する。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項	
	下水道施設のストックは膨大で、全ての管路を点検・調査及び修繕・改築していくためには、多大な労力、時間、費用が必要である。そのためには、国庫補助金等の財源確保に努め、ストックマネジメント計画に基づき、効率的・効果的に実施していくことが必要である。	

⑦ 事業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和6年度で対応する(した)もの	令和7年度以降で対応するもの
	交付金の内示率が年々減少傾向にあり、国の補正又は制度改正等の情報をいち早く収集し財源確保に努める。	交付金の内示率が年々減少傾向にあり、国の補正又は制度改正等の情報をいち早く収集し財源確保に努める。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A	A		
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)		

【履歴】

1次評価者	上下水道部 下水道課 下水道工務GL 谷 徹
最終評価者	上下水道部 下水道課長 宮崎 伸二